

第1部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

名称：令和元年度 第10回 東区自治協議会 第1部会

日時：令和2年1月10日（金）午前10時～11時40分

場所：東区役所 会議室B

出席者：作左部委員、和田委員、関根委員、長谷川委員、近藤委員、月岡委員、
野村（綾）委員、白井（俊）委員、雪井委員

〔欠席：後藤委員〕

（事務局）地域課、総務課

【会議内容】

1 令和元年度区自治協議会提案事業

「東区まちづくりセミナー」の開催について

事務局より、開催内容等の説明があり、当日のスケジュールや役割等について検討しました。

○開催日 令和2年2月16日（日）午後1時30分～4時

○会場 東区プラザ ホール

○内容 ・東区自治協議会の取り組みについての報告
・講演会（新潟県立大学 山中特任教授）
・意見交換会（東山の下小学校教諭、県立大学生、自治協議会委員）

2 令和2年度区自治協議会提案事業の実施に係るスケジュール

提案事業の進め方について事務局より説明があり、今後のスケジュール等を確認し、事業内容や方向性について、意見交換を行いました。

【主な意見等】

（各コミュニティ協議会における取り組み）

- ・敬老会で、警察から特殊詐欺や交通事故の状況等について説明を受けている。
- ・交通安全に関して、小学生の登下校の見守りはしているが、高齢者については各自治会・町内会に任せているのが現状だ。老人会では、交通安全の講習会をしている。防犯に関しては、年2回防犯パトロールをしている。
- ・年1回警察から治安や火災、認知症等について講習をしてもらう。また、交番に協力してもらい、年2回夜間パトロールを行っている。

(今後の取組内容について)

- 最近、火災が多いように感じる。防火についても取り組んではどうか。
- 各家庭で火災報知機を設置するための運動をしてもいいのではないか。
- 防犯では詐欺、交通安全では高齢者の事故や免許返納を考えてはどうか。

(取組方法や検討の仕方について)

- 各コミ協や自治会等は、交通安全や防火、防犯に関する取組みを既に行っている。高齢者に対するものも含まれていると思うが、積極的に高齢者に絞って取り組んでいるとは言えないと感じる。各コミ協等の取組みを「高齢者」という視点で整理して考える必要がある。
- 防犯や交通安全については既に取り組まれており、それぞれの組織や歴史もある。自治協議会としてどのように関係していくか、位置づけを考える必要がある。
- 自治協議会としてできることは、啓発活動など、高齢者に直接アプローチし意識を高めてもらうことと、第一線で活動している方や組織へのバックアップと、大きく2つに分けられるのではないか。
- コミ協や自治会、老人クラブ等で様々な取組みがされているが、一緒に活動できるよう、自治協議会が調整役になってはどうか。
- 問題を共有できる時間や場所を提供する等、地域のリーダーをサポートしてはどうか。
- 若い世代が自分の問題として考えるきっかけになる取組みができないか。
- 交通安全等の取組みは、一定期間でいいものではなく、継続して行う必要がある。
- 地域活動に参加しない高齢者へ、どう働きかけるかという視点も必要である。

【次回開催日】

日 時：令和2年2月14日（金）午前10時～

会 場：東区役所 会議室B

第2部会【福祉・教育・文化部門】 会議概要録

【開催概要】

名称：令和元年度 第10回 東区自治協議会 第2部会
日時：令和2年1月9日（木）午後2時～3時40分
場所：東区役所 会議室B
出席者：吉田委員、白井（雅）委員、太田委員、佐藤（恵）委員、田中委員、
高橋委員、山田委員
〔欠席：安藤委員、川上委員、斎藤委員〕
（事務局）地域課、健康福祉課、教育支援センター

【会議内容】

1 適応指導教室の設置に向けた協議について

12月26日に開催した第4回の協議の内容について、協議メンバーより以下のとおり報告がありました。

東区内への適応指導教室設置について、これまで、適応指導教室に通うことができないう児童生徒を対象とした居場所をつくる方向で話し合いをしていましたが、教育相談センターの東区分室という形で、来年度中の開設を目指し、現在できることからスタートすることとなりました。その運営状況を確認しながら、改善を図っていくものとなります。

今後は、3月頃を目途に教育委員会から開設曜日等の詳細について報告を受ける予定です。

2 令和2年度区自治協議会提案事業について

○不登校について

阿部教育支援センター所長より、不登校の定義や東区の現状等について説明があった後、質疑応答や意見交換を行いました。

【主な意見等】

- ・平成24年から小中学生ともに不登校児童が増えているのはなぜなのか。
- ・不登校に対する考え方が変化し、学校へ行かなくても良いと感じる子や親が増えていることも、不登校児童生徒の増加の原因なのではないか。
- ・家庭環境等が不登校児童生徒を生み出す原因になっていると感じる。

○提案事業の実施に係るスケジュール

事務局より資料について説明があり、今後の進め方や第2部会として目指す姿について話し合い、方向性の共有を図りました。

次回の部会では、広域通信制高等学校さくら国際高等学校に関する説明や、社会教育施設である図書館の関わりについての話を聞き、子どもを取り巻く状況について考えることとなりました。

【主な意見等】

- 学校には行かなくても、放課後にふれあいスクール等で友達を待っているような子どももいる。
- 子どもの視点から考えると、そっとしておいてほしいのではないか。
- 地域が子どもの気持ちを受け止めていくことが、子どもにとって住みよい東区になるのではないか。
- 保護者側と学校側が話し合っ、共に解決していく場が必要ではないか。
- 勉強が出来なくても、社会と繋がっていてほしい。自分にはこれがあると思えるものを見つけて、それを伸ばすことができる場所も必要だと思う。
- 不登校にならないような雰囲気づくりをして予防することも考えるべきでは。そのためには地域や世代間交流が大切になるのではないか。
- 現状の把握が出来ていない状況で、目指す姿を考えるのは難しく、進めていく中で見えてくると思う。まずは、取り組める項目を考えるべきなのではないか。

【次回開催日】

日 時：令和2年2月6日（木） 午後2時～

会 場：東区役所 会議室 A

第3部会【産業・環境部門】 会議概要録

【開催概要】

名称：令和元年度 第10回 東区自治協議会 第3部会

日時：令和2年1月9日（木）午前10時～正午

場所：東区役所 会議室B

出席者：國兼委員、野村（修）委員、佐藤（清）委員、菊谷委員、大江委員、
中川委員、土田委員

〔欠席：貝津委員、眞柄委員〕

（事務局）地域課

【会議内容】

1 令和元年度自治協議会提案事業について

(1) 東区の農産物魅力発信事業

○東区の農産物を使った料理教室について

実施内容を確認し、当日の役割分担について検討しました。また、全体会議で意見のあった開催回数についても検討し、時期的に追加開催は難しいことから開催回数は1回のみとしました。なお、多数の参加希望があった場合は、今後の事業の参考として区の関係課に情報提供することとしました。

(2) 東区の公共交通の研究について

○東区生活交通改善プランについて

東区公共交通検討会議での意見を受けて修正した内容を確認しました。

○公共交通に関連した市内視察の振り返りについて

12月12日（木）に実施した公共交通に関連した市内視察について、参加委員が感想を述べ、振り返りを行いました。

【主な意見・感想】

移動スーパー「とくし丸」の取り組みについて

- ・ 今後は需要が高まる事業だと思われた。まちの中心部でも今後は必要になってくるのではないか。
- ・ 大都市圏のような大規模な団地などの拠点に行くものでなく、個別訪問で実施しているのは意外だった。事業として成り立つなら素晴らしいと感じた。
- ・ 既存のスーパーや小売店との共存が大事との話があった。販売ルートの調整や利益の確保は個人では難しく、スーパーなどのバックアップが必要だと感じた。
- ・ 今回の訪問先は細い道を入っていった場所にあった。店頭価格に10円が上乗せされるが、利用者は価格が高いとは思わないのではないか。
- ・ 資源回収でも拠点回収と個別回収とでは、集まる量に大きな差がある。それだけ個別訪問への需要はあるのではないか。

- 個別訪問で資源回収を実施している地域は多い。そういったものと合わせて考えてもいいのではないか。
- 今後は高齢者が増え、経験のない状況となる。問題の解決のためには、こういった事業が必要となる。
- 移動スーパーが広がるためには、関係者の利害調整など多くの壁があるが、誰かが調整する必要がある。誰が壁を突破していくかの問題ではないか。

住民バス「にこにこ号」の取り組みについて

- 坂道を高齢者が歩くのは大変。東区内にも路線バスが入らない坂にある住宅地はあり、小型車両での運行やデマンド交通などが必要だと思う。
- 運行を維持していくための苦勞を感じた。住民の熱意があって走らせているバスだと感じた。
- 事業費の確保が最大の課題と感じた。榎谷小路など市の要所を通るバスでも課題となるため、東区では大きな努力が必要と考えると難しい面もあると思う。
- 東区の公共交通の空白地帯の解消は、大きなバス車両では難しい。デマンド交通など細い道でも運行できる交通体系が必要なのではないか。

○公共交通に関連した学習会の開催について

2月7日（金）に開催する講演会などの開催概要を確認し、当日の役割分担及び事前質問を検討しました。

2 令和2年度自治協議会提案事業について

事務局より今後の検討の進め方の説明があり、第3部会の提案事業の目指す姿を協議し、事業の方向性の共有を図りました。

【主な意見】

- 学生は学校、働いている世代は勤務先、高齢者は医療機関など、全ての世代で利用しやすい交通は1つの路線では出来ないと思う。
- 運行ルートを時間帯で変えるのは効果的だと考えられる。
- 利便性の高いバスを目指していけると良い。ツーステップバスは乗り降りに苦勞する人がいるのではないか。
- 終日、バスを自由に乘れるフリー乗降券などはどうか。
- バス車内の飾り付けを実施している区がある。
- バスの乗り方が分からない人も多くいるのではないか。
- 委員の学習のため、区バスに乘る機会をつくってはどうか。

【次回開催日】

日時：令和2年2月6日（木）午前10時～

会場：東区役所 会議室A